

Dianthus

むさし苑グループは、済生会の理念である 保健・医療・福祉のトータルサポートを目指します。



子犬の頃
↓

冬

VOL.18
'06.1月

特集(第58回学会のご報告)

新年のご挨拶

行事スケジュール(1・2・3月)

看護師便り(皮膚の痒み)

給食便り(カルシウムを多く含む食品)

図書室便り

ちくし探検隊(丸ノ口古墳公園)

トピックス

・クリスマス&忘年会 ・餅つき ・南部レクリエーション ・バスハイク

・ボランティア交流会 ・コンパニオンアニマル ・安全運転競技大会 ・ゆっくりフェスタ

・屋内消火栓操法大会 ・永年勤続表彰式 ・在宅サービス事業者連絡協議会

施設便り~ホームヘルパー~

記者レポート(池田・藤井・百田)

誕生者の紹介(10・11・12月) 4コマ漫画

編集後記

発行

むさし苑

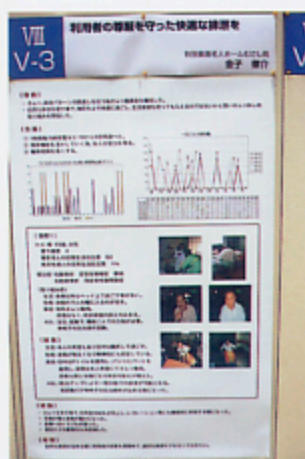
第58回学会参加報告

池田京子

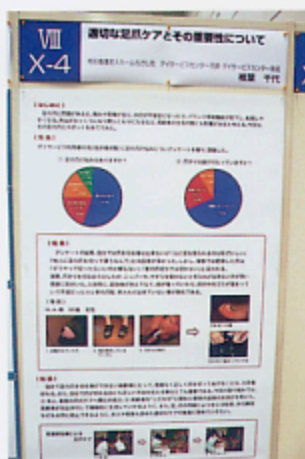
平成17年度第58回済生会学会が、八幡済生会総合病院の世話役で、10月15日・16日と二日間にわたり北九州小倉で行われました。二日市済生会むさし苑からは、4つのテーマについてポスター発表しました。

発表は、西日本総合展示場で行われ、A～Xまでのブースが設置されていました。10時30分より一斉に発表が始まり、広い会場は、発表者とそれを聞こうとする職員の熱気が溢れていました。それぞれの発表者の声が混ざって聞き取りにくかった事は残念でした。むさし苑からの最初の発表は、Pブースで栄養部・吉原主任の「適温給食を進化させる～「魅せる食事」への取り組み～」。続いて、Vブースで介護部・金子修介さんの「利用者の尊厳を守った快適な排泄を」、Xブースでデイサービス・椎葉副主任の「適切な足爪ケアとその重要性について」の発表。Jブースでは、訪問看護芦田鶴・藤井由美さんの「ALS患者の在宅療養支援を通して」の発表がありました。ブースとブースの間を、行ったり来たりしてどうにか発表を聞くことが出来ました。各ブースで同時に発表が行われているため、時間差があまりなく興味のあるテーマが最後まで聞けなかったりで少し残念でした。

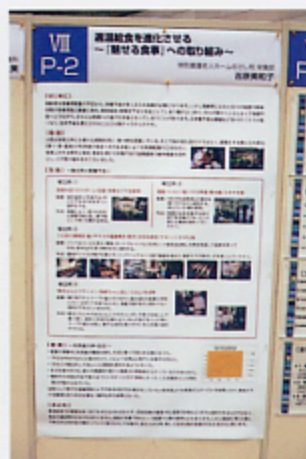
この発表に至るまでには、仕事の合間・合間に時間を作りながら大変な苦勞があったかと思えます。発表者の皆様、本当にお疲れさまでした。



▲学会発表ポスター
「利用者の尊厳を守った
快適な排泄を」



▲学会発表ポスター
「適切な足爪ケアと
その重要性について」



▲学会発表ポスター
「適温給食を進化させる
(魅せる食事)への取り組み」



▲学会発表ポスター
「ALS患者の
在宅療養支援を通して」



発表風景



新年のご挨拶

施設長 山崎 徹 央

新春のお慶びを申し上げます。

皆様、良いお年をお迎えになられたことと思います。新春の照り映える日は、この上なく明るく希望と夢に満ち溢れております。

皆様もご存じの通り、2006年の介護保険改正の前倒しを、昨年10月より、給食費と居住費が保険外（利用者負担）となり、実施されました。それに伴い、改正についての説明会を開いたり、ご家庭に訪問、説明をし、ご理解いただき、契約の更新をしていただき、ご利用の皆様には感謝申し上げます。

2004年4月、制度改正発足以来、初めて介護保険制度が2006年4月に大幅に見直されます。制度改正の最大のねらいは、介護給付費の伸びの抑制にあります。改正の大きな柱は、①介護予防、②地域密着型サービス、③サービスの質の向上です。

この制度改正は、介護保険施設のむさし苑にも大きな影響を与えております。また、在宅の事業所にとっても厳しい状況でございます。我々は、これに立ち向かっていかなければな

りません。

新年度から始まる、地域包括支援センターの運営を筑紫野市から要請され、また、大野城市はランチ式の導入で、包括の一翼を引き受けることになりました。ネットワークも広がり、筑紫野市、大野城市の地域の皆様の支援活動を行っていきたくと思います。今後、ますます対応要請の増大が予測されます、むさし苑グループは、地域福祉の推進にも力を入れていきたくと思います。

施設入居者の皆様、そして在宅を利用されている皆様、今まで以上に満足いただける質の高い、きめ細やかな、看護・介護サービスを徹底してまいります。むさし苑グループの理念でもあります、「健康で楽しく生きがいのある人生を」を目標に、今年も地域の皆様方に貢献していきたくと思います。

今年もよろしくお祈りいたします。



行事スケジュール

平成18年度

むさし苑グループでは、毎日の暮らしに潤いを感じていただき、生き甲斐を見い出していただくため、毎月楽しいレクリエーションを企画しています。

平成18年1月～3月までのレクリエーションとその内容をご説明しておりますので、楽しみにしていただき、皆様のご参加をお待ちしています。

【むさし苑】

1月 誕生会、新年祝会、書き初め、鏡開き

2月 誕生会、節分祭

3月 誕生会、家族会、雛祭り、彼岸供養

【南風】

1月 誕生会、鏡開き、ボランティア（鶴乃会演芸）

2月 誕生会、節分祭

3月 誕生会、雛祭り

【天拝】

1月 誕生会、鏡開き、ボランティア（むすかりビューティケア、雀の会演芸）

2月 誕生会、ボランティア（むすかりビューティケア、鶴乃会演芸）、節分祭

3月 誕生会、ボランティア（むすかりビューティケア、雀の会演芸）、雛祭り

『皮膚の痒み』について

湿疹など原因がなくて痒みが起こる病気を「皮膚掻痒症」と言います。その中でも特に高齢者に起きたものを「老人性皮膚掻痒症」と呼びます。

(原因)

年齢と共に皮膚が衰えて皮脂の分泌が減り潤いがなくなる為です。皮脂の分泌は性ホルモンが関係し、思春期は性ホルモンが多く、又皮脂の分泌も促進されます。しかし一般に25歳を過ぎると性ホルモンの分泌が減少しそれに伴い皮脂の分泌量が減少してきます。

冬場の空気の乾燥や暖房による皮膚の乾燥も原因のひとつです。

(症状)

- ・痒み、腕や脚に多い、腰や背中、お腹あたり
- ・皮膚表面がカサカサと白っぽくなる
- ・皮膚が割れ赤くなったりする
- ・掻き続けると湿疹ができる場合もある

(予防)

- ・暖房器具について
エアコン、ストーブ、コタツ、電気毛布、ホットカーベットの設定温度を高くせず、時々空気の入れ替えをしたり、長時間使い続けない。
- ・湿度について
補給は室内に濡れタオルを干したり、お湯を張った洗面器を用意したり、加湿器を使用する。
- ・衣類について

※参考文献「これでなっとく介護の医学」(キヤードウェブ)

ウールや、毛羽立った化学繊維の衣類は注意

下着は木綿素材のものがよい

・入浴について

湯の温度はぬるめで、長湯をさける

石鹸は刺激が少ない物を使用

柔らかいタオルやスポンジを使用

優しくなでるように洗う

湯上がりはタオルでゴシゴシ拭かず押さえて拭きとる

入浴後に乾燥を防ぐ為、乳液や保湿クリームを使用

・食生活について

熱い食べ物、刺激の強い香辛料、味の濃い料理に注意

※痒みの原因は色々なので、まずは専門医に診てもらいましょう。



給食便り

「カルシウムを多く含む食品」について

新しい年になりました。皆さんお正月はどのように過ごしましたか?新年最初はカルシウムの話をしたいと思います。

カルシウムは骨や歯を作る材料であり、血液凝固や心筋の収縮など体内の多くの生理作用に関わる重要な物質です。

骨は体を構成し、支えると同時にカルシウムの貯蔵庫の役割を果たしています。血液中のカルシウムが不足しそうになると骨を溶かしてこれを補います。なので、少くもカルシウムが足りなくなってもすぐに症状が出るわけではありません。しかし、使ったカルシウムをきちんと補うようにしないと体に影響が出てきます。骨粗しょう症もカルシウム不足が原因で起こる一つの病気です。

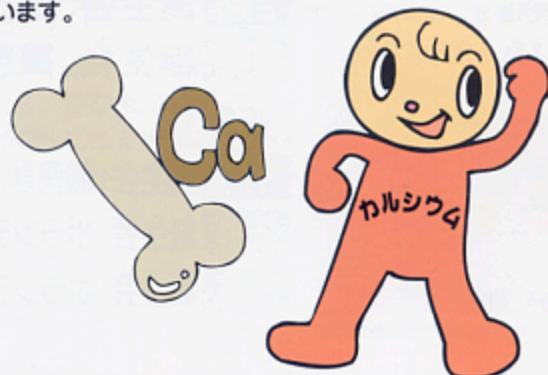
カルシウムは一緒にとる食品によってよく吸収されるものとそうでないものがあります。吸収を阻害するものにフィチン酸やリン酸があります。これは穀類やスナック菓子に含まれています。逆に吸収を助けるものにビタミンDがあります。これは食品中にも含まれますが、紫外線に当たることによって体内で作られ肝臓に蓄えられています。カルシウムを効率よく吸収しようとするなら屋外で十分に太陽の光を浴びる時間をもつことも大切です。

ある資料から、男女ともにある年齢からカルシウムの摂取量が減っていることがわかりました。学校給食があった10歳代までは牛乳を飲む量が1日200mlを超えていたのに、20歳代になると卒業と同時にその習慣がなくなるためです。1日に必要なカルシウムは600ml。これを1つ2つの食品だけからとるのは非常に困難です。1日の食事をいろんな食品から摂ることを心が

けるとよいのですがあと少しの足りない分は毎日牛乳を1本飲むことで解消しましょう。

他にカルシウムを多く含む食品に干しエビ、煮干し、佃煮などあります。これらは素材そのままを丸ごと食べられるので、魚のように骨を残すことがありません。なので、取りこぼすカルシウムが少ないのです。魚も焼き魚や煮魚よりもオイルサーディンや魚の甘露煮など骨まで一緒に食べられるものが好ましいです。

骨量は30歳以降少しずつ減少していきます。又、女性は特に閉経後には著しく骨量が減少しています。これはエストロゲンの急激な減少によるものです。ですからなおカルシウム摂取を心がけなければいけません。お年寄りになると1日に食べる食事の量も減れば、チーズや牛乳といった乳製品を好む方はあまり多くありません。いかにして食事にうまく取り入れながら必要なものを摂取して頂くか、毎日考えながら給食一同日々精進しています。



あなたの癒しの時間に本を読んでもみませんか？
心理学の本といえばフロイト…と思われるかもしれませんが、心の問題を生涯かけて追い求めた人…心理学者ユングの世界はいかがでしょうか？

自分の人生で悩んでいる人やこれから先、どうなっていくか迷子になっている人へ案内人としてこたえてくれるのでは。

お酒やギャンブルでストレス発散もいいけど…この世界をのぞいて見たら少しだけヒントをもらえるとおもいますヨ。

ちくし探検隊

私達が住み、働いている“筑紫”って？知っているようで知らない、地域の故事来歴を求めて、素人（職員）がうろうろ探検に歩き回り、そして「勝手にモノを考える」そんな趣旨の（ちくし再発見コーナー）です。

第⑧回「丸ノ口古墳公園」編

文.写真 藤 健児

今回は筑紫地区の中で、多くの自然が残る町那珂川町の丸ノ口古墳公園を訪ねました。片縄丸ノ口地区にあるこの古墳は、現在の那珂川北中学校の建設に伴って平成9年から四年間発掘調査を行ったところ、円墳と小さな石室だけの墳が42基見つかりました。

古墳からは、装身具・武器・馬具・土器など多くの出土品が発見され、6世紀代に造られた群集墳という事が解りました。この古墳は、石室や石棺などに文様が描かれた装飾古墳で彫刻系と言われています。彫刻系は、珍しい技法で、九州では、筑後地方などで数例が確認されています。

それではそれぞれの古墳を紹介します。丸ノ口V群5号墳は直径14mの円墳で、6世紀後半に造られたとされています。平成11年6月22日に町史跡に指定され、石室に円文が描かれていました。丸ノ口V群9号墳は盛土の無い古墳で、石室も小さく、最小の古墳となっています。丸ノ口V群8号墳は直径8mの円墳で、石室の形が他古墳と異なっており、6世紀前半に造られたとされています。丸ノ口VI群2号墳は、直径約12mの円墳です。石室は当時のまま残っています。石室奥に3種の文様が描かれており、5号墳と同様に町史跡に指定されました。白石I群1号墳は、直径約9mの円墳です。古墳をつなぐ墓道が確認されています。白石III群1号墳は、直径16mの円墳で最大のもので沢山の土器が供えられていたそうです。今回紹介した古墳は、この古墳群の特徴をよく表している代表的なもので、現状保存、移築復元を行い、古墳公園として整備されています。皆さんも足を運び、歴史に触れてみてはいかがでしょうか…。

※尚今回の取材に際し、資料提供と説明のご協力を頂きました那珂川町教育委員会生涯学習課の皆様、厚く御礼申し上げます。



▲丸ノ口古墳公園



▲丸ノ口V群6号墳



▲丸ノ口V群9号墳



▲丸ノ口VI群2号墳



▲白石群I号墳



▲白石III群1号墳

トピックス①

クリスマス・忘年会

クリスマス忘年会を終えて

熊本 希

12月21日、むさし苑にて、クリスマス忘年会を行いました。それに至るまで、何ヶ月も前から準備・計画を練り、開催の日が近づくにつれ、担当職員は休日に出てきたり、仕事を終えた後、遅くまで残り、作業をしました。作業をしている時、担当ではない職員さんが「何か手伝う事ある?」と尋ねて来、一緒に手伝ってくれました。会場の飾りは「今、有る物を使う」という節約精神で、昨年使った小道具、大道具を殆ど使い、アレンジをしたりして、見事な飾りが出来たと思います。

頭を悩ませたのが、出し物です。今年も慰問で、二日市保育所の園児の皆様が来苑され、可愛らしい歌と手作りのプレゼントで、入居者の方々の喜ばせてくれました。私も可愛らしい園児さん達の演技

に、つい夢中になりました。他に、音楽サークルと詩吟サークルの皆さんの協力と、キャンドル、天使役、サンタクロース、トナカイ役の職員さんの協力で、会を盛り上げてくれました。

入居者の方々の「とても楽しかった」という声を沢山聞く事ができ、とても嬉しかったです。むさし苑全職員が一致団結し、無事に会を終了できた事に、改めて感謝します。むさし苑、万歳!!



トピックス②

餅つき

餅つき大会

仲西佑未

べったん、べったん、今年もリズムよくお餅をつく音が、苑の中庭から聞こえてきました。毎年恒例のお餅つきです。今年はお飾りの鏡餅を5セット、小さい丸餅を約500個、入居者の皆さんと一緒に作りました。皆さん、お餅がくると上手に粉をつけて、まんまるに丸めておられました。聞いたところ、女性陣は殆どの方が若い時に正月は家で餅つきをされていたとのこと。なので、慣れた手つきで、次々

と餅が出来上がっていきました。

皆さん、昔を思い出しながら、とても楽しんでらっしゃいました。



トピックス③

南部レクリエーション大会

南部レクリエーション大会

山本理恵

9月22日に春日市のクローバープラザにて、南部レクリエーション大会が開催されました。当日の朝、むさし苑入居者代表の方5名は鮮やかな色のジャージに着替えました。皆さん揃って「何処に行く?」と言う声が出てました。車に乗り、現地へ向かい到着後、開会式を終えいよいよ競技へ…。玉入れ、物送り、パン食い競争、盆踊り、一人1~2種目の競技へ参加。競技への集合がかかると「私はできません!」「出たくない」等の声も出ていましたが職員と共に向かうと、一生懸命又笑顔で楽しそうに参加されていました。昼食はお弁当と、給食の方より用意して頂いたフルーツの盛り合わせ。皆さん体を動

かした為、お腹ペコペコだったようで、黙々と…ほとんど残す事なく食べられました。「体を動かしたので美味しい」「外で食べて美味しい」等、声が聞かれ、帰りの車内では「楽しかった」「面白かった」の声が飛び交っていました。



トピックス④

バスハイク

バスハイク

貞包由紀恵

毎年恒例のデイサービスセンター天拝・南風合同バスハイクが、10月21日・11月7・8日に行われました。今年ご利用者様の要望にお答えするため、あらかじめ皆様に希望地を伺い目的地を選定しました。頂いた回答の中には、オープンした九州国立博物館や、花どんたく等具体的な場所もありましたが、「自然の中が良い」「美味しいものを食べたい」と言う声が多く聞かれたため、散策コースに福岡市植物園、お食事コースに福津市の和風旅館華杏と2コースよりお選び頂くことにしました。

全日程お天気に恵まれ、10月21日の散策コースでは満開のバラやコスモスの他、温室で色々な植物を楽しんで頂けたようでした。

中でも、珍しい黄色のコスモスは「色々な色があるけど、黄色は初めて見た」と感激されていました。

11月7・8日のお食事コースでは、会席料理を召し上がっていただきました。皆様口々に「海が近いけん、魚が美味しいね」と箸が進み、会話が弾んでいました。食後は、ロビーから玄界灘を見て頂き、景色も堪能して頂いたようでした。



トピックス⑤

ボランティア交流会

岡山 優

去る平成17年11月29日(火)17:30より、デイサービスセンター天拝ホールにおきまして、ボランティア交流会を執り行わせていただきました。お招き致しました皆様方は、むさし苑グループの諸行事等でお世話になっている方々です。心ばかりの酒肴でおもてなしをさせていただきます。

横田二日市医療福祉センター長が、式典冒頭の御挨拶で「むさし苑グループは、ボランティアの皆様方と、非常に密接な関わりがあります。ボランティアの皆様方のお力をお借り致しまして、むさし苑グループが成り立っていると言っても過言ではありません」とおっしゃられていました。日頃から、むさし苑にいたしましても天拝にいたしましても南風にいたしましても、様々な行事等を催しておりますが、ボランティアの皆様方の御尽力があればこそ、円滑に進む事だと思

います。「来てもらう事が当たり前」「してもらう事が当たり前」などと、慣れてくれば、そういうふうになりがちですが、感謝の気持ちを忘れずに、心からの御礼を今一度、申し上げたいと思います。

最後になりますが、御参加下さいましたボランティアの皆様方、誠に有り難うございました。また来年の交流会も御参加下さいますよう宜しくお願い申し上げます。むさし苑グループ職員一同、心よりお待ち申し上げます。



トピックス⑥

コンパニオンアニマル来苑

赤坂明子

ワンコとニャンコたちが、続々来苑されて、自分が担当だという事を忘れてしまうくらいに「キャー!カワイイ!」と飛びついていってしまいました。実際、最近、自宅で犬や猫を飼われている方は増えてると聞きますが「癒される!」という気持ちが、触れあってみて良く分かります。自分も「飼いたいな〜」と思うのですが、アパート住まいだし、育てていけるか、しつけとかも出来なさそうで、諦めて金魚を飼い始めました。金魚の世話は、特に大事な事はないし、水槽の中でヒラヒラと泳いでいる姿をみると、何となくうらやましいような…。

1日くらい、自分と変わってほしいと思うくらい、癒されます。動物や植物を飼うことによって、自分の心が癒されるので、今後もコンパニオンアニマルのような行事は、ずっと続けていきたいと思っています。



トピックス⑦

安全運転競技大会に参加して

横山有一

9月25日、第1回筑紫地区自動車安全運転競技大会が南福岡自動車学校で開催されました。この大会は自動車安全運転技術の向上と交通安全思想の普及徹底を図り、交通事故防止を目的に、今回初めて行われることになりました。内容は自動車学校内の課題が設定された約1kmのコースを法規に従い、安全運転で完走し、いかにミスなく走り終るかという100点からの減点方式で成績が決まります。今回は団体11チーム、個人が男性21人、女性22人、高齢者25人の参加があり、むさし苑から団体(2名1組)が2組、個人が4名、計8名参加しました。開会式の後早速競技に入りました。

助手席の教官の言われる通りにコースを進んでいきます。検定試験を受けるような感じで緊張しましたがなんとか完走できました。終了後、教官から個別に感想と指導があり、自分でも気がつかなかった点があり、大変参考になりました。むさし苑からたくさん応援に来ていただいたおかげもあり、むさし苑は団体の部が1組、優秀賞(第2位)をいただきました。これを機に今後もより一層安全運転に心掛けていきたいと思っています。



トピックス⑧

カミーリヤフェスティバル

伊藤勝博

去る10月30日、筑紫野市の生涯学習フェスティバルのカミーリヤフェスティバルが開催されました。筑紫野市総合保健福祉センター「カミーリヤ」ほほえみタウンB棟に、華道(8杯)・手芸(13点)・書道(色紙13点)の各サークル作品を展示しました。当日は天候にも恵まれ、大勢の市民で会場が賑わいました。行政、各種ボランティア、社会福祉施設等、約64の団体が一

堂に会し楽しい一日となりました。利用者の作品も一生懸命練習した甲斐もあり、大勢の方に観賞していただき、今後の活動にも意欲が増すことでしょう。



トピックス⑨

消防操法大会

屋内消火栓操法大会

伊藤勝博

去る10月30日、カミーリヤフェスティバル会場内特設会場において、第17回屋内消火栓操法大会が行われました。

一昨年準優勝、昨年優勝とプレッシャーのかかる中、男性チームに加え、今年は女性チームも大会に出場しました。

訓練に参加することで、職員へ防災意識の啓蒙を呼びかけると共に、いざと言う時、素早く行動できるように全職員対象に大会参加を行っています。入賞とはなりませんでしたが、又来年に向けて頑張っていきたいと思えます。

最後に、今年は残念ながら入賞は逃したものの、リサイクル推進課が行った、リサイクル自転車



抽選会において1台自転車を確保することができました。この自転車を在宅サービスの充実に向けて活用します。

両行事を通じて施設が位置する筑紫野市という行政主体の行事に参加・協力することでしっかりと地域に根ざしていきます。



トピックス⑩

永年勤続表彰式

済生会永年勤続表彰式に参加して

吉原美和子

12月1日、ソラリア西鉄ホテルに於いて、平成17年度福岡県済生会永年勤続表彰式がとり行われました。各施設長、病院長方々に御列席頂き、功労会員5名の表彰につき15年勤続の20名、10年勤続の14名、30年勤続の5名と、総勢95名の授与式となりました。我がむさし苑からは10年2名、15年1名、20年2名の出席でした。私が驚いたのは10年勤続者の人数の多さで、受賞代表者謝辞の中で「私たちががんばらなければ」という言葉がありました。若い人の仕事が長続きしないと言われる中であって、これだけの方がそれぞれの職で自分の基盤を少しずつ積み重ね、10年の経験を礎石に変えてやって来られたことは、それぞれの施設に於いてゆるぎない柱を築き、現在の医療、福祉において強い力添えになるだろうと思いました。ですが私自身はというと、

15年の勤続を長い!とかすごい!などと言われてみても、感覚としては「あっ」という間で、見た目がどれでも老けようとも、小姑うるさくなくても済生会バッジをもらったのはつい昨日のような気がするのです。というのは大袈裟ですが。その年々、福祉も変化をしてゆきます。利用される方のニーズも時代の移り変わりにより刻々と変わって来ました。時代に遅れること無く対応し、満足していただく。そのことに走りまわり泣いたり笑ったり忙しいと思う暇さえ無いように思います。人間が対象である為すぐに結果の出るものではなく、あせらず周りをよく見て丁寧に仕事をしてゆく事が今後共の課題であると、今回受賞させていただき、強く思いました。

トピックス⑪

小樽在宅済生会

第4回全国済生会在宅サービス事業者連絡協議会に参加して

岸原千代子

9月17日、北海道小樽市におきまして第4回全国済生会在宅サービス連絡協議会が北海道済生会支部の担当で開催されました。会場は北海道小樽市のホテル・ヒルトン小樽で全国24都道府県から総勢148名の参加でした。10:00より幹事会が行われ、13:00全体会議、15:00部会と続き、18:00から懇親会というスケジュールで実施されました。全体会議は藤井英雄会長のご挨拶からはじまり、当番支部、済生会本部からそれぞれご挨拶があった後、幹事会の報告そして特別講演がありました。

特別講演はテーマを「認知症の捉え方とグループホームケア」として社会福祉法人函館光智会理事長で認知症高齢者グループホーム事業に先駆的活動をされている林崎光弘氏にご講演いただきました。認知症についてじっくり考えさせられた90分でした。その後各部へと移りましたが、部会の時間になって去年の連絡協議会を担当して苦しかった(今となっては懐かしい)思い

が蘇りました。内容は殆どの部会が個人情報保護法と大幅に変わる「改正介護保険について」であったようですが、今後の取り組み等、情報交換も兼ねて議論してきました。部会の中で感じたものは、他施設も同じような不安を抱えているという事でした。参加者の表情も和み、済生会という仲間意識が出来た頃に部会は終了してしまいました。しかし、懇親会の席では「おいしいカニ料理ととうもろこし」を食しながら、日頃の苦労話に沈痛な思いをしたり、一方では楽しい話題に花が咲き大笑いしたり親睦を深めることが出来ました。

その後はむさし苑独自の楽しみ方で、遠い北海道の地と海の幸を堪能させて頂いた事はいうまでもありません。時間に追われての学会でしたが済生会という組織の中で勤務させて頂いている事を感謝して学会参加の感想と致します。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会二日市医療福祉センターでは、11の施設を運営しております。その一事業所である「訪問介護ステーションむさし」の紹介をさせていただきます。

私達、職員は訪問介護員といい、地域においては、「ヘルパーさん」と呼ばれています。ヘルパー事業は、認定を受けられた利用者様が、住みなれた自宅で、安心して快適に生活が続けられるようにと支援します。当事業所は“健康で楽しく生きがいのある人生を”をモットーに、コミュニケーションを大切にしながら、サービスの提供に努めています。

業務の内容は、自宅に訪問し、直接身体に触れる排泄・入浴・整容に関する援助や、衣食住に関する生活の援助です。また、一緒に買い物に出かけ、安心して買い物ができるように、見守りや介助も行います。

今年の三月で、「訪問介護ステーションむさし」は、丸4年を迎えます。これまで、利用者様の方から、冬になると、「寒くないね?」「風邪をひかないようにね」または「車の運転に注意してね」等、お言葉をかけていただき、励まされてきました。そのようなお言葉をいただき感謝しながら、利用者様に不快な思いをさせないように、また私達のサービスが円滑に行える様に、日頃訪問バッグに忍ばせている物があります。私達は、「ヘルパーの七つ道具」と呼んでいます。

その「七つ道具」とは、靴下のスペア、タオル、筆記用具（朱肉・電卓・のり等）、ビニール袋（大・小）、空の財布、使い捨て手袋、エプロンです。この様な道具を忍ばせ、今後も利用者様が、ご自宅で安心して生活が送れますよう、笑顔で訪問し、お手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。

連絡先

訪問介護ステーション むさし

〒818-0058 筑紫野市湯町2-9-2

FAX 092-928-1607

TEL 092-925-4719



その1:手拭き（サービスに向かうヘルパーは自分の物を持参します）

その2:靴下（サービス中にはどうしても汚れてしまうときがあります。その時のために予備を常に用意しています）手拭き・靴下とも衛生面を考慮してのものです。



その3:プラスチック手袋（清拭・排泄介助時などに主に使用しております）

その4:財布（買い物を頼まれた時などに、利用者様のお金と混同しないように別に用意してあります）



その5:エプロン（調理するときなどに着用します。どこのご家庭でもお馴染みですね）

その6:ビニール袋（その1.2の手拭き・靴下が汚れた場合、この袋にいれます）



その7:小物入れ（中には、電卓・朱肉・ボールペン・スティックのり・消毒液などを入れております。必要な物をその都度取り出し使用します）

※何気ない日常生活用品ですが、実はサービスするにあたって重要な物です。

①

池田京子

昨年の9月、娘の高校の体育祭の前夜でした。娘が近くの団地でダンボール箱に入り捨てられてた子猫を拾ってきた。「お願い、どうにかしてあげて」娘の悲痛な訴えに恐る恐る箱の中から取り出すと、手のひらに乗るほどの小さな子猫がいた。目はまだ開かずへその緒も付いていた。一瞬、今からの大変さが頭をよぎって深いため息をついてしまった。

とにかく、暖かくして牛乳をスポイトで与える…はて、牛乳でいいのかしらん…翌日体育祭の応援に行く前にペットショップに走った。「牛乳では薄すぎてだめです。下痢をします。猫用のミルクを与えてください」…こういう時はペットショップにすべてあり便利である。猫用の哺乳瓶もあった。

約2時間ごとの哺乳、1日20%体重が増えるのが目安だそうです。最初120%だった体重が日に日に増えて順調に育った。1週間すると、目が開きはじめ動物の習性で生まれて最初に見たものを親と思うすり込みがあり本人(?)は、どうも自分を猫と思っていないようである。現在は、家のなかを走り回り先住民(?)であるマン(老猫)をからかったりして我がもの顔である。人の手・足・皮膚の露出している部分を狙って噛みつき愛情表現をして家族全員手・足は傷だらけである。



②

藤井由美

私はむさし苑グループの中の訪問看護ステーション芦田鶴に勤務しています。日々仕事の中でも公用車を運転しているため、毎日安全運転を心掛けるようにしていましたし、先日の免許更新でも、ゴールド免許を頂きました。しかし、免許更新から約1ヶ月後、立て続けに自家用車で軽い事故を起こしました。1回目は対向車と狭い道路を離合中、路肩に車を寄せ過ぎ岩にタイヤをぶつけ、バンクしてしまいました。2回目は次の日、飛び出して

きた自転車と軽く接触してしまいました。幸い自転車の運転手にも怪我がなく、大事に至りませんでした。やはり振り返ると自分の不注意なのです。ゴールド免許を取得し、安全運転中には自信があるという自負が気の緩みにつながったのだと思います。今回、改めて運転中の注意の重要性、危険性を再認識させてくれました。皆さんも日々の運転を振り返り、安全運転、心掛けていきましょうね。

③

百田寿子

こんにちは!訪問看護です。今回はテーマのとおり、『芦田鶴』についてです。

私たちのステーション名で、この名の由来については所長水田先生があしたづ創刊号できっちり解説してくださっています。

最近この名前についての素朴なお尋ねが多く、しどろもどろで答えている自分が情けなく、私は私なりに詳しく説明をしなければ!と思いました。

「芦田鶴」でインターネットを検索してみると、75件ものヒットが!

地名でもあり、湯町に石碑がある大伴旅人さんの歌でもあり、二日市温泉の紹介でもあり、当然我がステーションの名前でもあり(なんと済生会二日市病院のホームページでの紹介、筑紫野市の訪問看護ステーションの紹介、福岡市の訪問看護の紹介、医療福祉の地域の訪問看護の紹介など、自らのアピールなしでこれだけたくさん紹介されていたんですね…)そして歌語として(鶴は芦の生える水辺に多く生息していることから鶴の別称として芦田鶴で表現するんだそうです)紹介していました。

歌語として『芦田鶴』という言葉があるんですね。また一つ賢くなりました。ということで、当ステーションは古い歴史の二日市温泉街の一角に事務所を構え、大伴旅人さんの歌に歌わ

れた、温泉で霞む芦の水辺の鶴のように優しく利用者の皆様を看守り、時には一緒に悲しみや苦しみを分かち合いながら、在宅での療養生活を送って行きましょう、という意味がこめられているのかなあ〜と解釈したのでした。

どこか間違っているのかもしれませんが、温泉街の石碑のようにどこにある?というくらいさり気なく利用者さんの身近にあり、温泉街の歌といえど…というくらいに一番に思い出していただけるくらい存在感のある『芦田鶴』になるようにがんばっていかねばと心に誓ったのでした。



これが湯町にある私達「芦田鶴」の名前の由来となる石碑です、へたくそですが、自分で撮ってみました。



石碑の横にある解説文です。

10月

(むさし苑) (南風)
 中村マツエ様 石橋智恵子様
 橋口助太郎様 篠崎 淑子様
 齋藤 静子様 (以上17名)
 大石 ヒサノ様
 神崎 藤吾様
 長郷 福恵様
 (天拝)
 谷 叶恵様 (卒寿)
 常岡マスエ様
 池田喜久代様
 大石 米秋様
 松田 輝子様
 國武カズエ様
 鬼木 秀美様
 鬼木 艶子様
 松尾フヂエ様

喜寿
77歳の
お祝い

森下テル子様

米寿
88歳の
お祝い

竹田フミエ様
福田チヨモ様

11月

(むさし苑)
 河津 眞澄様
 井上 正子様
 小田部スシコ様 (卒寿)
 牧 サツキ様
 楢崎トメノ様
 大原フサエ様
 松原千鶴子様
 吉田 傅七様
 新田 平行様
 上田 正継様
 波多江久美子様
 (天拝)
 平野イシロ様
 森下 照雄様
 戸次 美栄様
 森下テル子様 (喜寿)

12月

村谷 正剛様
 岡部 稔様
 (南風)
 金子 秀幸様
 後藤 美子様
 堤 静 様
 茂木 まさ様
 稲富 昌義様
 池田 道夫様
 藤井 ミサヲ様
 千田 千尋様
 田中 テル様
 藤吉 富 様
 平川 一 様
 真木美津子様
 渡邊 久枝様
 (以上30名)

(むさし苑) 森 繁夫様
 (南風)
 越浦ツキヨ様
 竹田フミエ様 (米寿)
 河津キリヨ様
 福田喜代子様
 江原ツルエ様
 中江 俊郎様
 (天拝)
 平野玉子様
 酒井 サエコ様
 志柿 シツコ様 (卒寿)
 福田 チヨモ様 (米寿)
 稗田 梅子様
 佐々野保子様
 梶原 ツイ子様
 笹田 ヨシエ様
 手嶋 貞夫様

卒寿
90歳の
お祝い

谷 叶恵様
 小田部スシコ様
 志柿シツコ様

好評につき、むさし苑入居者の「平木スミ子」さんの作品を連載にて紹介します。

4コマ漫画コーナー

1
12月誕生会



2
クリスマス忘年会



3
クリスマス忘年会



4
夕食後のこと(水仙の間で)



編集後記

済生会では毎年1回、北は北海道・東北から南は九州・沖縄にいたるまで、全国331病院・施設が集まって「済生会学会」をおこなっています。医療・看護・事務・福祉それぞれの分野での研究の成果を報告するものですが、われわれむさし苑グループでは本年は、看護・福祉・栄養部門より「魅せる食事への取り組み」「足爪ケアの重要性」「尊厳ある排泄ケア」「ALSの方の在宅療養支援」の4例の発表を行いました。日常の業務の合間におこなった研究の成果です。詳細は本号に掲載しておりますので、よろしくご覧いただければと存じます。

誌名の“ダイアンサス”は済生会の紋章なでしこの花「Dios-anthus(神の花)」から採らせていただきました。ギリシャ語の「Dios(神)」「Anthus(花)」が語源。神より与えられた花、神聖な花の意味です。日本では「なでしこ」として親しまれ、「形小さく、色愛すべきもので愛児に擬す」と万葉集にあります。「撫で」は愛撫するという意味で、「撫子(なでしこ)」と書きます。四季の移り変わりを告げる大切な花です。

なでしこ || ダイアンサス(Dianthus) ～済生会 紋章の由来～



初代総裁・伏見宮貞愛親王は、創立当時、済生会の事業についてのお心を次のような「撫子の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に露をあしらったものが、大正元年(1912)から済生会の紋章となっています。

露にふす 末野の小草 いかにと
あさ夕かかる わがころかな

人事往来(10～12月)

【訪問介護ステーションむさし】 川口明香

編集委員 山崎編集委員長 藤本副編集委員長 青木 伊藤 池田 家永
岡山 藤(健) 熊谷 仲西 藤井(由) 福田(一) 丸菱 貞包 三輪 百田 森下

デザイン編集 VIVID VISION 印刷 松影堂印刷株式会社

<発行所・発行者>

福岡県筑紫野市湯町2丁目9-2
社会福祉法人 福岡済生会支部福岡県済生会
特別養護老人ホーム むさし苑
発行責任者 施設長 山崎 徹 央